

# 須恵



## これ知っとう?

わが町の宝物 第13回

### すえ 須恵ダム



時代は移り変わっても、守り続けていきたい自然・歴史・文化・人…  
須恵町の大切な宝物をご紹介します。

佐谷のショウケ峠の途中にある須恵ダムを知っていますか。

須恵ダムは治水・砂防を兼ねており、昭和39年5月着工、翌40年3月に完成した中央越流型アーチ式コンクリートダムです。

上から見た形が弓なりのアーチ型なので、こう呼ばれています。アーチの持つ特性によって、水圧の大部分を兩岸の岩盤に伝えることにより、コンクリートの重さで支える重力式コンクリートダムと比べて堤体を薄くすることができ経済的です。しかし、ダムの兩岸の岩盤に伝わる力が大きくなるので、兩岸に良好な岩盤が必要とされています。

建設当時は世界で一番小さいアーチ式コンクリートダムでした。

(ダム建設計画)

石炭採掘により、一般の住民が生活用水に使っていた井戸水が涸れる被害が発生し、被害世帯への補償のため志免鉱業所は、暫定的な給水措置として須恵川の水を汲み上げ、各被害地域へ給水を行いました。

しかし、水道法に基づく水道ではなく、衛生上からも飲み水としては不適で施設も不完全なため、昭和35年頃から被害住民より給水に対する不満が起き、地域開発の上から水道法に基づく上水道の必要性が高まり、住民の要望が強まりました。

町は各地域ごとに単一に給水が行われていた飲料供給施設を鉱害復旧事業によって一ヶ所に集め、水道法にのっとった「鉱害上水道」を計画しました。

須恵川上流に須恵ダムを建設し、水源として給水人口1万人とするもので、昭和37年に事業計画認可を受けて上水道事業に着手し、昭和40年4月から給水を開始しました。

水は私たちにとってかけがえのないものです。衛生的に管理され常時、水が使用できることに感謝です。



上下水道課  
世利 昌信 課長に  
お話を伺いました。

#### ダムの規模

・堤頂長	144.5m	・堤体積	9,500m <sup>3</sup>
・堤高	21.0m	・総貯水量	120,000m <sup>3</sup>
・堤頂幅	2.2m	・水道分の有効貯水量	80,000m <sup>3</sup>

#### 編集後記

初夏となり、プールの使用などにより水が大量に使われる季節になりました。福岡県には、92のダムがあります。須恵町の主な水源は、須恵ダム・運動公園の中柱田貯水池・男鳥池と、筑後川を水源とする福岡地区水道企業団からの水です。須恵町の水は佐谷浄水場の濾過池で緩速濾過した後、管理棟地下の施設で塩素を注入し、PC受水タンクに送られて企業団からの水とブレンドされ、配水池から各家庭に送られます。最近ではペットボトルなどの普及により水の使用量が減っていますが、須恵町の水はおいしいと評判ですので水道の水を飲んでみてください。ちなみに、須恵の水は1ℓ約20銭です。今回、須恵ダムの取材を通じて、水の大切さを改めて感じました。

今村 桂子

#### 発行責任者

議長：三角 良人

#### 広報特別委員会

委員長：今村 桂子  
副委員長：白水 勝元  
委員：合屋 伸好  
委員：三角 栄重

#### 主な内容

## 6月定例会

- 民間力を活用して ..... ②
- ここが聞きたい ..... ④  
(一般質問)
- これ知っとう? ..... ⑭  
(須恵ダム)
- 表紙シリーズ/未来を担う子どもたち「夏しぶき」(小学校水泳教室)





三角 良人 議長

# 民間力を活用して

## 6月定例会

平成30年第2回定例会は、6月8日から15日までの8日間で行われ、審議の結果、提案された議案22件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

平成30年度一般会計補正予算(第1号)  
7651万円を増額 総額80億7651万円



## より良いサービスに向けて

業務改革アウトソーシング  
推進事業費 7235万円増額

総務省の受託事業として昨年度「業務改革モデルプロジェクト」が行われました。

その中で、窓口などの定型的な業務のアウトソーシング(外部委託)について検討され、今年度その事業が進められます。

これにより、業務の効率化が図られ、より政策的な業務を行えるようになり、住民サービスの向上につながります。



自然食普及センター備品購入費  
89万円増額

自然食普及センターの冷蔵庫が故障したため、その購入費の増額です。

文化会館外壁・防水改修工事設計業務委託料  
49万円増額

アザレアホール外壁の一部落下と屋上(3階和室部分)の防水シートが劣化しています。雨漏り防止のため改修工事の概算設計業務委託料です。

前年度繰越金  
7648万円増額

平成29年度予算において、町税などの収入が増えたため、増額補正されました。  
(詳しくは、下記に記載しています。)

平成29年度一般会計補正予算  
6123万円を減額  
総額 83億9384万円

専決 (賛成多数で承認)

平成29年度予算の最終調整が行われました。

### 町税が増収

景気の上向きなどにより、見込み以上の収入があったため、町税(町民税・固定資産税)で、1億2300万円が増額補正されました。

### 財政調整基金繰入金金の減額

町税の増収や国保繰入金などの減額により、1億9500万円の減額となりました。  
平成29年度において、財源不足による繰入金はありませんでした。

平成29年度 国民健康保険  
特別会計補正予算  
9009万円を減額  
総額 36億2400万円

専決 (賛成多数で承認)

赤字補てんを目的とした一般会計繰入金金、県からの財政調整交付金等の影響により、3300万円減額されました。

平成29年度 公共下水道事業  
特別会計補正予算  
580万円を減額  
総額 11億152万円

専決 (全員賛成で承認)

工事請負費等の決算見込みによる減額です。

工事請負契約の締結  
須恵第三小学校校舎外壁・防水等改修工事



○請負金 7408万円  
○工期 平成30年9月28日まで

### その他の議案

◇須恵町税条例等の一部改正 専決 (賛成多数で承認)

◇須恵町国民健康保険条例の一部改正 専決 (賛成多数で承認)

◇須恵町地域防災施設設置条例の制定 (全員賛成で可決)

◇特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (全員賛成で可決)

◇須恵町若年者専修学校等技能習得資金貸与条例の一部改正 (全員賛成で可決)

◇須恵町公共下水道条例の一部改正 (全員賛成で可決)

那珂川町市制施行にともなう規約変更などについて、次の7議案を全員賛成で可決しました。

- 福岡都市圏広域行政推進協議会規約の一部変更に関する協議
- 福岡都市圏広域行政事業組合規約の一部変更に関する協議

第2回  
臨時  
議会  
平成30年7月4日

■工事請負契約の締結  
上須恵地区15工区  
管渠築造工事



○請負金 4797万円  
○工期 平成31年3月15日まで

※すべてのページにおいて金額は1万円未満を切り捨てています。



答弁中の平松町長

○「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。

一／般／質／問

ここが聞きたい！

○一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。



世利 孝志 議員

まちづくり

「稼ぐ力」に関する施策とその実施計画は

イノベーションセンターSUENOBAの運営は



白水 勝元 議員

問

町の魅力や稼ぐ力といった新たな付加価値創出のため、オープンイノベーション戦略事業のもと、拠点となるスエノバが昨年9月に完成しました。このスエノバの事業形態として「企業支援サービス」と「町独自の稼ぐ力の拠点」の2つから成るとのことです。

11月の開所式から半年ほど経過しましたが、事業の進捗状況はどうでしょうか。メイソンの事業が軌道に乗るためには、早くても5年ぐらいかかるのではないか、町の財政はその余裕がありますか。当町もスエノバと並行して、サテライトオフィス誘致などの事業を進めることが必要と考えますが、いかがでしょうか。

問

町内企業の育成と稼ぐ力を創出する目的で、須恵町が100%出資の株式会社SUENOBAが昨年11月に開設されて半年が経過しました。当所で新たな事業、技術開発を取り入れることにより、その事業で得た収益を財源に充てるねらいがあると考えます。そこで、SUENOBAの現状についてお伺いします。

広報や営業活動を地道に行う

(一括答弁)

答 平松町長

本町の経済構造はものづくり、そして小規模ではあるが物流拠点としての機能を有しており、多くの企業が町内で仕事をされています。大半は中小企業で、技術者の高齢化ならびに労働力不足が深刻な問題となっています。SUENOBAは2つの企業支援型事業です。

- ①町内企業を様々な面で支援すること、町内の経済活性化を図ります。
- ②町外企業に対しシェアオフィスなど福岡都市圏での拠点を提供し、ビジネスチャンスを広げてもらいます。

サテライトオフィスについては、先進事例を見ても、山村・漁村、特に風光明媚なへき地と言われるような自治体とIT企業などがそれぞれの強み・弱みを補完し、お互いが問題解決の一助となる時に実施されているようです。

この事業は魅力的ではありますが、福岡都市圏にある須恵町は企業が求める自然環境の優位性や精神的ケアに繋がらない環境にあるのでしょうか。これは我々の判断ではなく、企業側から申し入れがあれば可能な限り実現できるように努力していきたいと思えます。

答 平山まちづくり課長

現在、事業協同組合設立認可申請書を提出し、事業の発展に向けて着実に足場を固めている状況です。今後、サービス拡大と会員確保に努め、共同購買事業の拡大、外国人技能実習生の受け入れ等の事業を進めていきます。

サテライトオフィス

企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのこと。



SUENOBA ホームページ



福祉

### 町の社会福祉事業について

## 居宅介護支援事業は継続

**問** 社会福祉協議会は、長年、介護保険事業を実施しております。しかし、居宅介護支援事業・訪問介護事業・障がい者福祉サービス事業・地域生活支援事業が平成31年3月31日をもって終了すると聞いております。

も困るのではないのでしょうか。町民の皆様が安心して暮らせる住みよいまちづくりを町長としてはどう考えているのか、お聞きします。

**答 平松町長**

今後、高齢者が増え続ける中で、高齢者が増え続ける中で、居宅介護支援事業は継続されません。サービス利用者には、ケアマネージャーを中心に利用者が困らないよう新しい事業所へ引き継ぎを行っていただく予定です。サービスを利用したい方は、今まで同様、地域包括支援センターに相談していただ

平成31年3月31日で終了となるのは、訪問介護事業・障がい者福祉サービス事業・地域生活支援事業の3つで、居宅介護支援事業は継続されます。サービス利用者には、ケアマネージャーを中心に利用者が困らないよう新しい事業所へ引き継ぎを行っていただく予定です。サービスを利用したい方は、今まで同様、地域包括支援センターに相談していただ

ければ、サービス事業所を紹介いたします。次に高齢者を守るまちづくりの方向性については、社会福祉協議会に委託している「生活支援サービス体制整備事業」があります。これは、生活支援・介護予防サービスの充実に向けてボランティア等生活支援の担い手の育成・発掘・地域資源の開発やネットワーク化を行い、地域住民、関係機関等と連携し、日常生活に必要な支援体制の充実強化を図ることを目的としています。今後は社会参加型の、高齢者をはじめみんなが須恵町の運営者だという意識改革も含めたシステムを作れたらと思っています。



答弁中の平松町長



三角 栄重 議員

利用したい方は、今まで同様、地域包括支援センターに相談していただ

教育

### 須恵町から核兵器廃絶と平和運動を小中高生に伝えよう

## 昭和の時代からすでに実施中

**問**

第二次大戦における全世界の死傷者は6000万人、8500万人、広島は原爆死傷者は56万人、長崎は37万人近くと言われ、戦後73年になろうとしています。しかし、今なお1万数千発の核兵器があり核戦争による人類滅亡の危機は続いています。

本町は昭和60年田原町長時、非核宣言都市の請願を採

択しています。町長の核兵器廃絶国際署名、小中高生の広島・長崎代表者派遣等、平和運動を糟屋郡のニューリリーダーとして推進すべきです。本町の教育方針は、自分に誇りと自信を持ち、共に助け合い、おたがいを尊重することにあります。平和教育を進める意義はそこにあります。

**答 平松町長**

本町は、昭和60年6月議会において「非核都市宣言」の請願を採択し、議会として議決され、非核宣言自治体となっています。

また本年4月には、核兵器廃絶国際署名について「非核の政策を求める福岡県の会」「福岡県原水爆禁止協議会」「福岡県原爆被害者団体協議会」の連名で各自治体首長あてに依頼文書が送付され、この趣旨に賛同し町長名で提出しています。

昨年8月14日から25日の間、アザレアホールにて原爆被害者の会須恵支部の依頼により原爆写真展を行いました。今後も学校教育や社会教育の中で普及啓発をしながらこの問題について真摯に取り組んで行こうと思っています。



児玉 求 議員

次に、小中高生の広島・長崎への派遣については、本町では早くから3つの小学校とも平和学習の一環として長崎への修学旅行を実施しています。安全平和学習として教育問題ととらえ、小学校教育の中に組み込んでいきます。また、原爆パネル展等は、



答弁中の平松町長

教育

児童虐待の現状と対応は

SSWを中心に

問

児童虐待により子どもが死亡する悲しい事故のニュースは後を絶ちません。「児童虐待防止法」では、市町村が子ども虐待の相談窓口となり、必要な調査や指導を行うこととなっています。

先日の須恵町立園・学校経営説明会で、平成29年度の児童虐待は39件で、年々増加しているとの報告がありました。

虐待の現状、表面化した経緯や対応、要保護児童対策地域協議会の機能、今後の虐待防止の取り組みについてお尋ねします。

答 安河内教育長

平成19年度より要保護児童対策地域協議会を開催しています。この協議会の機能は、虐待の早期発見、早期対応を徹底して行えるよう情報を共有し、虐待の重症化や継続化等を予防することです。



今村 桂子 議員

園や学校、また警察や児童相談所からの通告等が入った場合は、現場で事実確認を行い虐待の有無を見極めたいので、必要な措置を取りたいです。平成21年度から

教育

育成会に無料バスの貸し出し支援を

現状維持

問

行政区の組合員数の減少に伴い、育成会・子ども会費も減少しています。育成会では、子ども達を青少年科学館などのいろいろな場所や施設に連れて行きたくても、バスを貸し切る資金がありません。一年に一回、子ども達のために無料でバスの貸し出しの支援を町で行っていただけませんか。

町長のお考えをお聞かせください。

答 吉川社会教育課長

コミュニティバスは、国交省の許可を受けたもので、許可を受けた路線及びダイヤでしか運行できません。また、20人乗りのマイクロバスは1台しかなく、平等性を保つため、各種団体全体で活動するときのみ貸し出しています。

体制づくりを行っています。

※SSW(スクールソーシャルワーカー)とは 児童・生徒が学校や日常生活で直面する問題や悩みについて、家庭や学校、地域に働きかけ、福祉的なアプローチによって問題解決を支援する。

校区編成

校区適正化の状況は

旅石区と協議中

問

平成26年3月議会でも「早急な校区の適正化の実現を」と題し同様の質問をしました。が、町の人口増加に伴い第二小学校も児童数が増加しているため、教室に余裕があるのか心配しています。

今回は町が旅石区の一部に認めている「選択区域」についてお尋ねします。一部の児童が第三小学校に通学していることで、行政区や子ども会、育成会の運営に支障をきたしている現状があります。校区適正化委員会を設置され検討されているのでしょうか。



松山 力弥 議員

答 平松町長

校区適正化委員会は設置しておりませんが、校区見直しについては、現在、旅石区との協議を進めています。

今後も第二小学校の児童数は増えることが予測されますので、移行するためのルールづくりなどを行い、町としては、平成32年4月の移行をと考えています。ただ、いきなり全員をとということではなく、現在、第二小学校に通っている子どももいますので、緩和措置も必要だと考えています。

また、町全体の校区編成については、行政区再編の問題をまずは解決しなければと考えており、しばらくは臨機応変に対応していきたいと考えています。

どげんな っとうと？

一 / 般 / 質 / 問

所信表明 平松秀一 町長

# 住みたくなる町日本一を目指して



平松 秀一 町長

## 安全・安心のまちづくり

災害発生時における防災体制の本部機能の見直しを早急に行い、あわせて全ての行政区に自主防災組織を設置していただくよう区長会と協議していきます。

## 高齢者の生きがいづくり

高齢者のスキルを町の運営に生かし、日々の生活を生き生きと過ごせる「社会参加型」の事業を展開したいと考えています。

## 子ども・子育て支援

当町の教育・児童福祉予算は全体の18%を超えており、他の市町村と比較しても力を入れていることは間違いありません。

児童福祉ならびに町独自の教育振興基本計画を時代に即した形に見直しながら対応していきます。  
**若い世代の関心を**  
30代・40代の方々に町の運営に参画してもらえよう話し合いの場をもうけ、若い人たちの提案が町政に生かされるまちづくりを行っていきたくと考えています。

## 町内企業を強くアピール

商工会や企業クラブと連携し、企業誘致や就職してもらおう仕組みをつくりまします。

## 暮らしのコミュニティの早期実現

3つの小学校区を基盤として、各小学校区で抱える諸問題を各小学校区で解決してもらおうことにより、迅速に住民サービスが行き届くシステムづくりを考えています。  
これらの事業を慌てることなく、財政調整基金の改善や行財政の見直しを行いながら取り組んでいきます。

教育行政報告 安河内文彦 教育長

# 「つながり」を大切に「丁寧」に鍛える

## 平成29年度の主な取り組み

○特別支援教育の充実  
本年2月に特別支援教育基本計画を策定しました。この計画に基づき、今後も特別支援学級の担任の育成などを計画的に進めます。  
○小学校英語科教育  
須恵第二小学校を小学校英語教育推進校に指定しました。担任が一人で授業を実践できることを目標に、小学校3校で共同の研修を行い、教員の指導・技術の向上に努めています。

## 立志式の開催

中学2年生全員が将来への希望や夢、職業などについて作文を書き、



安河内 文彦 教育長

各校2名の代表が発表しました。

## 30年度の主な新規事業

○「つながり」を大切に「丁寧」に鍛える」教育の推進  
小・中学校の交流を通して中学生の姿が模範となる取り組みを始めています。また、結果をほめるだけでなく、結果までの過程を認めることを意識した教育を推進します。

## ○不登校児童・生徒への対応

適応指導教室（やまももルーム）での支援をはじめ、スクールソーシャルワーカー等を含めた組織的・総合的なアプローチにより復帰を目指します。

## ○学力向上にむけて

学力向上検証委員会では、教科別に全国学力テストの結果を分析し、授業改善や補充学習などに取り組んでいます。今年度からは小学校3・4年生の学力補充を重点的にを行い、高学年につなげていきます。

## 視察研修レポート 平成30年5月10日（木）

### 粕屋南部消防組合 中部消防署 西出張所

粕屋町柚須・阿恵地区および志免町別府・御手洗地区では、中部消防署や南部消防署から救急出動してしました。現場到着までの時間が15分以上経過する状態が続いていたため、平成27年12月に西出張所が開設されました。現在、救急車1台、消防ポンプ車1台が配置され、救急隊3名×3交代・消防隊3名×3交代・課長1名の計19名が勤務にしています。  
これにより、現場到着までの時間が短縮されました。



## 福岡都市圏消防共同指令センター

平成29年11月に福岡都市圏消防共同指令センターが開設されました。

福岡都市圏の5つの消防本部にある119番指令センターが一本化されたことにより、大規模災害時における迅速な対応や119番通報集中時の受信・処理能力の向上などが期待されます。

これまでは、南部消防本部において3名×3交代の9名で指令業務を行っていました。現在は3名を共同指令センターへ派遣しています。（平成31年3月31日以降は、福岡市消防局での運用となり、職員員の派遣はありません）  
この共同指令センターの設立整備費用として、粕屋南部消防本部は約4億6600万円を負担しています。  
粕屋6町の住民の安心・安全が一層高まりました。

# 生涯現役 ～輝くシルバー世代～

平成30年5月22日（火）  
シルバー人材センターの現状・課題などを調査しました。

## シルバー人材センターとは

平成19年に須恵町シルバー人材センター「杖の会」として会員105名で発足。平成26年4月に公益社団法人になりました。安全第一で、高齢者の方々の豊かな経験・能力を生かし、就業を通じて地域社会に参加し、健康で生きがいの充実や仲間づくりを目的に高齢者の雇用の安定をはかっています。本年4月に地域活性化センターから須恵町西作業所へ事務所を移転しています。

## 現状は

60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者が、月10日・週20時間以内で働いており、派遣事業の斡旋も行っています。現在会員数は171名で、年会費は2千円です。

## 仕事内容は

- ① 公共施設の清掃・管理
- ② 民間清掃、花壇管理、除草、剪定、大作業、包丁研ぎ、表装表具
- ③ 買い物・洗濯・食事の支度などの家事支援

29年度は874件、5267万1千円の仕事（公共75%、民間25%）を受けています。補助金2343万4千円のうち、町補助金990万3千円を受けて活動しています。



- ④ 送り迎え・こども居場所づくり・産前産後の家事支援などの子育て支援
- ⑤ 町広報紙の配達
- ⑥ その他（手作り小物、焼き芋など）様々です。

## 課題は

まずは会員の拡大、そして、介護・子育て支援などの女性が活躍できる仕事や、事務系の仕事の拡大。また、PR方法についても考えなければなりません。

## 今後の展開は

シニアパートナー制度の普及。商工会や老人クラブ等との連携などを行っていきます。



## 事務調査を終えて

事務所・会議室・整理整頓された作業道具置場・広々とした駐車場など環境面において格段に向上していました。これからの高齢化社会に向けて、誰もが自分らしく生活できる社会・健康で生き生きと働くために、シルバー人材センターの役割の大きさを感じ、議会としても支援していきたいと思えます。



## 議長通信



三角 良人 議長

## 3度目ならず

今年も須恵町消防団の暑い夏が始まりました。

今年度、小型ポンプの部は県大会、ポンプ車の部は全国大会まで開催されます。

須恵町消防団は、平成22年に本部分団が、平成28年には上須恵分団が全国大会に出場し、共に優良賞に輝いた実績があります。

どの分団も追い抜け、追い越せとばかりに、4月より長期間訓練に励んでいると聞いています。

6月3日、須恵分団、松本竜一選手の宣誓で須恵町消防ポンプ操法大会が始まりました。

各分団ともに訓練の成果を発揮すべく、張り詰めた緊張感の中、懸命の操法が展開されました。

結果、ポンプ車の部は佐谷分団、小型ポンプの部は乙植木分団が優勝しました。

両分団は、上位大会である地区大会へ挑むため、さらなる猛訓練に取り組みました。

しかし、残念ながら両分団とも

県大会出場を勝ち取ることはできませんでした。

本大会には、各市町の消防団員が集結しています。とりわけ須恵町消防団には、若い年齢の消防団員が多く見受けられました。

須恵町の防災を担う新しい力が確実に育っていると感じました。

各分団が頂点を目指すため、大きな掛け声、団員の意見のぶつかり合い、流した汗、費やした時間は計り知れません。

決して自己の為だけではなく、町民の生命財産を守る消防団員の使命につながっているこの団員たちの姿に、感謝です。

## 人事案件の審議結果

### 須恵町副町長の選任

いなが しゅうじ  
稲永 修司氏（上須恵区・63歳）  
任期 平成30年6月8日～平成34年6月7日



### 須恵町教育委員会教育長の任命

やすこうち ふみひこ  
安河内 文彦氏（宇美町・65歳）  
任期満了に伴い再任  
任期 平成30年7月1日～平成33年6月30日



### 須恵町教育委員会委員の任命

ながさわ こうた  
長澤 貢多氏（佐谷区・50歳）  
任期満了に伴い再任  
任期 平成30年7月1日～平成34年6月30日



## 本会議傍聴のご案内

本会議は一般に公開されており、簡単な手続きで傍聴することができます。傍聴を希望される方は、本会議当日に役場4階議会事務局の窓口にお越しください。（予約不要）

議会議を  
生でみて  
みよう！



ホームページで本会議の会議録を公開しています。

須恵町議会 検索



平成23年以降の会議録を掲載しています。ぜひご覧ください。

次の定例会は  
9月4日からの予定です。

## すまっ子未来ちゃん



作・田原ウーコ  
1979年須恵町生まれ。イラストレーターとして福岡を中心に九州・東京の広告やエディトリアルにて活動中。 <http://polyworks.jp>